

観光

平成19年度の上半期観光客の動向とこれからの秋・冬の観光施策、海外からの観光客について

Q

次の3点について伺う。
1 平成19年度上半期観光客状況と箱根関所入館者数と収入について

2 箱根における海外観光客の観光と宿泊について

3 秋・冬の誘客計画とイノシシの駆除について



箱根関所

A プウエイ、観光船は大幅な増との報告を受けており、また、宿泊客数も前年度をわずかに上回っているが、6月以降の天候の不順により、上半期の観光客数は、前年並みとの分析をしている。

また、宿泊については、平成17年が71,000人18年が105,000人と着実な伸びを示し、個人旅行者が多く見受けられている。

また、箱根関所の上半期の入館者数については、前年同期と比較して、^{17,434}人、^{8.09%}の増、また、観覧収入は本年4月の料金改定により前年同期と対比はできないが、約^{3,647}万円、^{70.31%}の増となっている。

次に、イノシシの駆除であるが、昨年度は猟友会により銃器による駆除を11月20日から3月31日まで行い、21頭を駆除し、また、ワナによる駆除では12頭、合計33頭を駆除し、今年度もワナによる駆除を実施しているが、銃器による

2点目について、海外からの観光客数は、日帰り宿泊を含め、約50万人と推計され、日帰りについては、団体ツアー客が多く、芦ノ湖周辺で、大

型バスが見受けられている。また、宿泊については、平成17年が71,000人18年が105,000人と着実な伸びを示し、個人旅行者が多く見受けられている。

防災

地震対策について

Q

次の4点について伺う。
1 高齢者等の弱者対策について

2 住宅の耐震化について

3 緊急地震速報の活用について

4 東京電力三枚橋発電所の水力発電用調整池の安全対策について

A

1点目について、まず、高齢者の把握であるが、平成17年度に高齢者実態調査事業を行い、名簿を作成している。なお、障がい者の名簿については、身体障がい者台帳、知的障がい者台帳からの情報をもとに健康福祉課で作成している。

また、個人情報の活用については、今後は安否確認を速やかに行うことができるよう平時時から民生委員や地域防災組織と情報の共有が可能となるよう情報公開・個人情報保護審査会の意見を聞きながら検討していきたい。

また、個人情報の活用については、今後は安否確認を速やかに行うことができるよう平時時から民生委員や地域防災組織と情報の共有が可能となるよう情報公開・個人情報保護審査会の意見を聞きながら検討していきたい。

2点目について、(仮称)箱根町耐震改修促進計画の策定を平成21年4月の施行を目標に、現在素案づくりをしているが、この計画の中で、一般住宅の耐震補強工事に対する新たな補助制度を検討しており、住宅等の耐震化に向け、利用しやすく効果のある総体的な支援ができる制度づくりに取り組んでいきたい。

3点目について、当町は観光地という特殊性から、多くの観光客が来遊しているため、この緊急地震速報をどのようにしたら早く伝えられることができるか気象庁の動き、県及び近隣市町の動向を見ながら技術的な面も併せて検討していく考えである。

4点目について、町としては、調整池の下側には湯本小学校をはじめ、町民の方々が多く生活しており、安全確保は大変重要なものと思っておりますので、自治会とともに東京電力へ更なる安全対策には万全を期していただくよう今後お願いをしていきたい。

4点目について、町としては、調整池の下側には湯本小学校をはじめ、町民の方々が多く生活しており、安全確保は大変重要なものと思っておりますので、自治会とともに東京電力へ更なる安全対策には万全を期していただくよう今後お願いをしていきたい。

下郡議長会全議員研修会

10月17日、湯河原厚生年金会館にて、標記研修会が開催され、全国都道府県議会議長会元議事調査部長野村稔氏の「地方議会改革の提言について」と題した講演を傾聴しました。



県町村議会議員研修会

11月16日、山北町中央公民館にて、標記研修会が開催され、四日市大学総合政策学部教授、自治体議会政策学会会長竹下謙氏の「議会改革とマニフェスト」と題しての講演を傾聴しました。

